

総研大ニューズレター

第 18 号 2009. 11 発行

● 目次

- 【今月のトピック】 「平成 21 年度 10 月入学式を挙 行」 総務課
「総研大後学期学生セミナー及び日本文化指導コースを開催」 全学事業推進室
「文化科学研究科学術交流フォーラム開催」 学務課
「葉山キャンパスにおいて科学研究費補助金説明会開催」 学務課
「総合研究大学院大学の大学院教育に係る事務打ち合わせ」 総務課

【各種募集】

【イベント情報】

【編集後記】

【今月のトピック】

「平成 21 年度 10 月入学式を挙 行」

平成 21 年 10 月 8 日（木）に葉山キャンパス 2 階講堂において平成 21 年度入学式が行われ ました。

10 月には珍しい大型台風の影響で交通機関が運行停止になるなどの大荒れの状況で、出席で きた入学者は、10 月入学者 34 名（留学生含む）のうち 9 名のみでした。

式典に先立ち、奥田暁仁さんが 9 名の入学者のために心をこめてピアノ演奏を行ってしてくれま した。例年に増して心にしみいる演奏だったと思います。

その後開式の辞、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ入学が許可さ れました。高畑学長より式辞があり、出席者は緊張した面持ちで聞き入っていました。出席した 入学者にとっては印象に残る入学式になったことと思います。



【文責 総務課】

「総研大後学期学生セミナー及び日本文化指導コースを開催」

「Unity and Identity」

後学期入学式とそれに引き続く学生セミナーが開催されたのは台風が上陸した10月8日でした。そのため開催が危ぶまれましたが、多くの方の協力で無事開催され、夕食懇談会の頃には参加予定者ほぼ全員が集まってきました。

今回の学生セミナーのテーマは「Unity and Identity」。Peter Somogyi 博士から「個人として面白い研究を行うと同時に他の研究者との共同することの大切さ」についてご自身の経験を踏まえた講義がありました。その後、フリーディスカッションが行われ「Unity and Identity」について学生と教員で議論を行いました。また翌日にも Antonio Ruiz Tinoco 博士の「地理的な距離や言語の継続的な変化などによって使用法の異なるスペイン語の変容について研究報告」があり、スペイン語においても「Unity and Identity」を考えなければいけないことに気づかされました。



また1日目の夕食後および2日目の午前中はチームに分かれ、アクティビティが行われました。メンバー間で話し合い、協力しながら折り紙製作や問題にとりくむ中で、参加者同士の絆のようなものができているようでした。これは1年(5回の会議)をかけて、企画にあたった学生(実行委員)の大きな成果でした。



「日本文化」「…点天展…」 「自然のこえ 命のかたち」

10月9～11日は総研大の2つの専攻がある国立民族学博物館(民族学・文化人類学の研究所)で日本文化指導コースが開催され、新入生を中心に30人近い学生が参加しました。日本文化の紹介では、「ハレ(祭礼)」と「ケ(日常生活)」の世界の対比した展示、現在はあまり見られなくなった農漁村の生活の展示そして民家集落の展示を見学しました。それらの展示から昔の日本人の知恵を窺い知ることができ、アジアからの新入生たちも共感をもって説明を聞いていました。



また、点字の考案者ルイ・ブライユの生誕200年を記念して開催されている「点天展」は、ヘレン・ケラーの点字蔵書や古い点字器や点字タイプライターなどの展示だけでなく、ボードカービングの入っている巣箱に手を入れてどの鳥を当てるかのゲームや高松塚古墳壁画の石創画を実際に触って鑑賞することもできました。触感を楽しみ、想像力・創造力を高められる展示になっていました。カナダの先住民文化の歴史や地理的な多様性を紹介しているのは特別展「自然のこえ 命のかたち」。カナダ先住民の芸術性の高さはすばらしく、精巧な作品が並んでいました。特に参加者が楽しんだのは「生まれ変わり（輪廻転生）」の思想を表現したCGでした。ポーズによってイルカや熊に変身するというものです。また、3Dの動く絵本やかぶると変身してしまう帽子などもあり、博物館展示の常識が覆されました。留学生のみならず、参加者にとって多様な日本の文化や異文化に接することができ、いろいろな文化を理論的・体験的に理解する貴重な機会になりました。

【文責 全学事業推進室 講師 岩瀬峰代】

「文化科学研究科 学術交流フォーラムを開催」

10月17日（土）～18日（日）に国立民族学博物館において、「文化科学研究科 学術交流フォーラム」が開催されました。

文化科学研究科では平成17年度から毎年、専攻を超えた教員と学生の交流の場としてフォーラムを開催しており、今年度のフォーラムは、テーマを「極限の文化—人はどこで生きているか 生きられるか—」とし、文化科学研究科開設20周年事業と併せて開催されました。また、今回、初めての試みとして、総研大の教員・学生のみならず、修了生を含む一般の方にも公開し、両日とも60名以上の方にご来場いただきました。

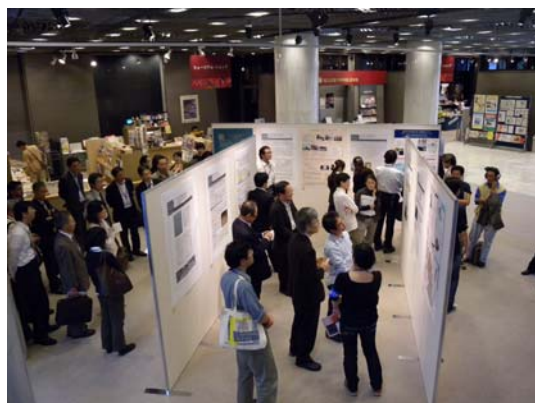
1日目（17日）には、「みんぱくゼミナール」と「ポスター発表」が行われました。民博の講堂で開催された「みんぱくゼミナール」では、上記テーマ（「極限の文化」）を基に、近藤副研究科長（比較文化学専攻）を司会として、廣川 和花（大阪大学総合学術博物館助教・大阪大学大学院助教）、池谷 和信教授（地域文化学専攻長）、松山 利夫教授（地域文化学専攻）の3名の先生方からの報告の後、対談が行われました。



みんぱくゼミナールの様子



ポスター発表会場

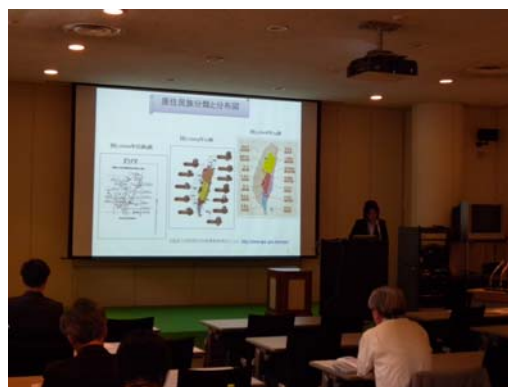


ポスター発表の様子

また、「ポスター発表」では、イニシアティブ事業経費を受給した学生を中心に、教員や学生の普段の研究内容についての発表が行われ、各所で活発な議論が交わされました。議論は、その後のレセプションでも続き、大いに盛り上がりました。

2日目(18日)の午前中は、イニシアティブ事業経費を受給した4名の学生による口頭発表が行われ、ヨーグルトの経営人類学的研究、中国雲南省ミャオ族の服飾文化、台湾原住民族の共同体の概念、市販DVDを用いたe-learningシステム等について報告がありました。

午後は再び「極限の文化」をテーマとしたシンポジウムが行われ、鈴木七美教授(比較文化学専攻)から19世紀アメリカの民衆健康運動の展開について、寺島恒世教授(日本文学研究専攻)から方丈記とその時代背景について報告がありました。その後、地域文化学専攻の学生と民博の職員による民族楽器の演奏と休憩を挟み、司会の岸上伸啓教授(比較文化学専攻)、渡邊研太郎准教授(複合科学研究科極域科学専攻)、学生企画委員の伊達元成さん(日本歴史研究専攻)による対談が行われました。最後に鈴木教授、寺島教授も交えた全体討論があり、質疑も含めて充実した内容となりました。



学生による口頭発表の様子



司会の岸上教授



器楽演奏



全体討論の様子

【文責 学務課】

「葉山キャンパスにおいて科学研究費補助金説明会開催」

去る10月14日（水）、葉山キャンパスでは国立特別支援教育総合研究所と共催で科学研究費補助金説明会を開催しました。

野村副学長からの挨拶の後、日本学術振興会研究助成第一課の江藤直行課長代理を講師にお願いし、補助金の制度概要、ルール改正点、応募に係る手続き、不正使用等の防止などを説明していただきました。江藤講師からは過去の審査員からの情報なども折り交えて、審査員の視点に立った申請者の作成の必要性、研究題目・キーワードの重要性などのアドバイスもいただきました。

参加した50名の教職員は熱心にメモをとるなど充実した説明会になり、次回の申請に向けての良い機会となりました。



【文責 学務課】

「総合研究大学院大学の大学院教育に係る事務打合せ」

10月8日（木）入学式終了後、葉山本部事務職員と基盤機関の事務担当で大学院教育に係る事務打合せを行いました。

大型台風の影響で交通機関が停止するなか、予定どおり葉山で参加できた基盤機関の職員はわずか8名で、各基盤機関とはTVで中継しての打合せとなりました。

野村副学長の挨拶の後、赤塚新事務局長の紹介があり、総務課長から「国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書」、学務課長から「教育研究高度化のための支援体制整備事業」の説明がありました。

また国立民族学博物館から提出された論文審査料、入試出願書類についての2つの議題について質疑応答などがあり、活発な意見交換が行われました。

事務担当者が一同に会して意見交換を行う数少ない機会、今回は葉山での基盤担当者の参加者が少なく残念でしたが、内容的には非常に充実したもので、ある程度共通の認識が得られたのではないかと思います。

今後もこういう意見交換の機会を増やして、本学の教育がスムーズに行われるよう努力していきたいです。

【文責 総務課】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提出先
平成 22 年度総合研究大学院大学 学長賞	平成 21 年 11 月 16 日(月) - 12 月 18 日(金)	総合研究大学院大学 学務課研究協力係
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初 日の前月 1 日まで)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000175.html		

【イベント情報】・・・オープンキャンパス, 入試説明会, 入試など大学行事に関わるもの。

11月

日程	時間	行事名	場所
3 日 (火・祝日)	10:30-12:30	先導科学研究科学術講演会	総合研究大学院大学 葉山キ ャンパス 共通棟 2 階講義室
6 日(金)	15:00-16:30	統計科学専攻入試説明会	統計数理研究所 2 階 会議室 1
http://www.ism.ac.jp/senkou/setsumeikai.html			
8 日(日)	10:00-16:00	基礎生物学専攻・生命共生体進化学専 攻合同大学院説明会	東京ガーデンパレス
13 日(金)	17:00-19:00	情報学専攻; 入試説明会	国立情報学研究所 20 階講義室
http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=931			
13 日(金)	14:00-17:00	高等研プロジェクト(人間生命科学) 公開講演会・座談会「ヒトの成長(個体 発生)はいかにユニークか？」	国際文化会館(東京都港区) 講堂
http://www.soken.ac.jp/up_pdf/20090930112421_f.pdf			
16 日(月)	13:30-17:30	第二回 合同フォーラム	学術総合センター 一橋記念講堂
http://www.soken.ac.jp/news_all/0852.html			
16 日(月)	10:00-12:30	総研大一般向け大学紹介	学術総合センター 中会議場
http://www.soken.ac.jp/news_all/0853.html			

12月

日程	時間	行事名	場所
14 日(月) -17 日(木)		平成 21 年度総研大国際シンポジウム 国際的学術研究ネットワーク構築にむけ て	総合研究大学院大学 葉山キャンパスおよび湘南国際 村センター

1月

日程	時間	行事名	場所
8 日(金) -9 日(土)		生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス	葉山キャンパス
15 日(金) -17 日(日)		総研大レクチャー プレゼンテーションセミナー2010	放送大学 ICT 活用・遠隔教育 センター総研大講義室

<基盤機関の行事>

11月

日程	時間	行事名	場所
10月14日(水) -1月24日(日)		企画展示:縄文はいつから!? -1万5千年前になにがおこったのか-	国立歴史民俗博物館
10月31日(土) -11月15日(日)		重要文化財 洛中洛外図屏風甲本公開 (第2展示室)	国立歴史民俗博物館
3日 (火・祝日)	13:00-16:45	宇宙学校・東京	東京大学 駒場キャンパス 13号館 1323 教室 主催:JAXA
3日(火・祝日)	13:00-17:15	公開フォーラム 世界の博物館 2009	国立民族学博物館 第5セミナー室
http://www.minpaku.ac.jp/research/rccr/museology091103.html			
3日(火・祝) -29日(日)		くらしの植物苑特別企画「伝統の古典菊」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
3日 (火・祝日)	13:00-17:15 (予定)	公開フォーラム 世界の博物館 2009	国立民族学博物館 第5セミナー室
http://www.minpaku.ac.jp/research/rccr/museology091103.html			
5日(木)	13:30-16:30	統計数理研究所 公開講演会(立川移転記念講演会)「最強 人エゲームプレイヤーで名人に勝つ!」	立川市女性総合センター ホール
9日(月) -23日(月)	10:00-16:30	「物語の生成と受容」	国文学研究資料館
http://www.nijl.ac.jp/contents/events/index.html			
10日(火) -12日(木)	10:00-18:00	第11回図書館総合展	パシフィコ横浜 出展:国立情報学研究所
http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=948			
13日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			
14日(土)	11:00-12:00	歴博探検「ヒミツの科学調査室」	国立歴史民俗博物館
14日(土)	14:00-16:00	第311回歴博講演会 「縄文・弥生時代を炭素14でみる」	国立歴史民俗博物館
14日(土)	9:30-16:00	平成21年度オープンキャンパス(一般公開)「プラズマがつくる未来のエネルギー」	核融合科学研究所
http://www.nifs.ac.jp/welcome/2009/			
14日(土)	13:30-15:30	みんなく映画会「トーテム グプスゴロック ス・ポールの返還」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/movies0910sp.html#2			

14日(土)	11:00-16:00	MMP ワークショップ「点字教室」	国立民族学博物館内
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#event01		
15日(土)	13:00-15:30	特別展関連モノづくりワークショップ「ヤマアラシの針のアクセサリー(クイル)づくり」	国立民族学博物館内
	http://www.minpaku.ac.jp/special/canadian/event.html#page3		
21日(土)	13:00-16:50	第72回歴博フォーラム 「縄文はいつから!？」	国立歴史民俗博物館講堂
21日(土)	13:30-15:00	第378回みんなぱくゼミナール 「変身」の美学-イヌイットと北西海岸先住民の アートの世界」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html#s377		
22日(日)	13:00-16:30	宇宙学校・くろべ	黒部市吉田科学館 共催: JAXA、黒部市吉田科学館
22日(日) -23日(月)		国際シンポジウム「点字力の可能性—21世紀の新たな レイ・ブライユ像を求めて」	国立民族学博物館 第4セミナー室
	http://www.minpaku.ac.jp/research/dp/20091122-23.html		
24日(火)まで	10:00-17:00	企画展「点字の考案者レイ・ブライユ生誕200年記念…点天展…」	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/tententen/index.html		
24日(火)	10:00-16:00	Rによるテキストマイニング入門	統計数理研究所(立川)講堂
	http://www.ism.ac.jp/lectures/21n.html		
25日(水) -27日(金)		「平成21年度 みんなぱく若手研究者奨励セミナー「開発現象に関わる文化人類学」」	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/offer/wakate_seminar2009pd.html		
28日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場: 国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html		
28日(土)	13:30-15:30	第128回くらしの植物苑観察会 「菊の栽培書」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
28日(土)	17:00-19:30	赤池先生を偲ぶ会 (17:00~18:00 講演会) (18:00~19:30 偲ぶ会)	東京會館 主催: 統計数理研究所
	http://www.ism.ac.jp/news/2009/announce/memorial.html		
28日(土) -29日(日)	12:30-17:30 10:00-17:10	第33回 国際日本文学研究集会	国文学研究資料館
	http://www.nijl.ac.jp/contents/events/index.html		

12月

日程	時間	行事名	場所
12月1日(火) -1月31日(日)		くらしの植物苑特別企画 「冬の華・サザンカ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
5日(土)	10:30-17:00	歴博映像フォーラム4「筆記の近代誌一 万年筆をめぐる人びと」	新宿明治安田生命ホール 主催:国立歴史民俗博物館
5日(土)	13:30-15:30	第129回くらしの植物苑観察会 「サザンカの楽しみ方」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
6日(日)	13:30-15:30	みんなく映画会 「極北の怪異(極北のナヌーク)」	国立民族学博物館 講堂
8日(火) まで		特別展「自然のこえ 命のかたちーカナダ 先住民の生みだす美」	国立民族学博物館 特別展示館
8日(火) -11日(金)		第19回国際土岐コンファレンス(ITC19) 「プラズマと核融合研究における先進物理」	セラトピア土岐 主催:核融合科学研究所
11日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
12日(土)	14:00-16:00	第312回歴博講演会 「生業からみた旧石器から縄文」	国立歴史民俗博物館
14日(月)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「生活を見守るライフログー物忘れがなく なる社会は実現するか?ー」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
19日(土)	13:00-17:00	第6展示室関連フォーラム:第73回 「戦後日本の大衆文化」	東商ホール 主催:国立歴史民俗博物館
19日(土)	13:30-15:00	第379回みんなくゼミナール 「被災地が育む新たな絆」	国立民族学博物館 講堂
26日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス

1月

日程	時間	行事名	場所
8日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス

9日(土)	14:00-16:00	第313回歴博講演会「東海道の創造力」	国立歴史民俗博物館
9日(土)	9:00-12:30	宇宙学校・おおふなと	リアスホール 共催: JAXA、大船渡市
16日(土)	13:00-17:00	第74回歴博フォーラム「新春トラの巻」	ヤクルトホール 主催: 国立歴史民俗博物館
16日(土)	13:30-15:00	第380回みんなくゼミナール 「対談 アレクサンドロスの道を撮る—写真家、大村次郷×山中由里子」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html#s377		
19日(火)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「ゲノムと情報学-あなたの体質や生物の進化をゲノムから知る方法とは?-」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
23日(土)	13:30-15:30	第130回くらしの植物苑観察会 「出土資料からみたツバキ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土)	時間未定 (午後)	宇宙学校・とくしま	徳島県立あすたむらんど子ども科学館 共催: JAXA、徳島県立あすたむらんど子ども科学館
23日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場: 国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html		

<教員の受賞情報>

複合科学研究科

統計科学専攻

○ 西山陽一 准教授

第23回日本統計学会小川研究奨励賞 受賞

○ 北川源四郎 教授、九州大学 小西貞則 教授

第2回日本統計学会出版賞 受賞

○ 椿広計 教授、河村敏彦 助教

2009年度日経品質管理文献賞 受賞

情報学専攻

○ 新井紀子 教授

2009年度日本OSS(オープンソースソフトウェア)奨励賞 受賞

生命科学科

遺伝学専攻

○ 佐々木裕之 教授

日本人類遺伝学会学会賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第18号をお届けします。

10月入学式は季節外れの大型台風の影響で、前日から開催が危ぶまれていましたが、大荒れの天気の中なんとか開催することができました。

各交通機関が次々に運行を停止し、欠席の連絡が相次ぐ中、時間をかけてかけつけていただいた入学者や関係者の皆様に心から感謝申し上げます。途中までで断念して引き返された方や遠方からどうしても間に合わない方々もいて非常に残念でしたが、入学式は厳粛に行われ参加者にとっては心に残るものであったかと思えます。

個人的にも長い大学人としての生活の中で入学式の日には台風が来ることは初めての経験で、大学の危機管理を含めて印象に残るものでした。

入学生の今後の幸多いことを祈っております。

[総務課]

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2009年11月4日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2009 SOKENDAI